

成蹊会誌 61

1985年6月



成蹊学園概況

(成蹊学園
総務課提供)

五 在学生及び教職員数 (昭和六十年五月一日現在)

理事長	○朝倉	新井益太郎	専務理事
古賀繁一	○石坂泰彦	○岩崎忠雄	理事
木村静子玄	○小笠原光雄	○大槻文平	同
中田楢田昭	○谷岡喜久藏	○丹治道生	同
清水川口浩	○印は卒業生	○赤間保谷	同
照行羽田野孝通	佐々木秀雄	佐々木義洋	同
長谷川邦彦	英二	正治	同
東京海上火災保険	庄三	福與	同
東京海上火災保険	英二	正治	同
山一證券	堀田福與	福與	同
ニチメン	長治	長治	同

校長	朝倉孝吉	同	同	同	同	同	同	同
副校長	杉山和雄	同	同	同	同	同	同	同
研究科長	楢田昭	同	同	同	同	同	同	同
文学研究科長	木村定司	同	同	同	同	同	同	同
工芸研究科長	中田乙一	同	同	同	同	同	同	同
経済研究科長	木村義克	同	同	同	同	同	同	同
法政研究科長	中田義吉	同	同	同	同	同	同	同
国際研究科長	木村定司	同	同	同	同	同	同	同
教育部長	木村義克	同	同	同	同	同	同	同
教務部長	木村義克	同	同	同	同	同	同	同
監事	木村義克	同	同	同	同	同	同	同
経理部長	木村義克	同	同	同	同	同	同	同

所属	在学生数			教職員数		
	男	女	計	専任	非常勤	計
大学院	工学研究科	49	1	50		
	経済学研究科	0	1	1		
	法学政治学研究科	8	1	9		
	文学研究科	6	6	12		
	経営学研究科	5	4	9		
学部	学長	1,447	230	1,677	44	
	経済学部	1,143	87	1,230	97	
	工芸学部	355	1,270	1,625	41	
	文法学部	1,317	310	1,627	36	
高等小学校	小計	4,330	1,910	6,240	219	281
	等級	607	367	974	47	61
	中学	493	267	760	37	57
	小学校	452	252	724	32	37
	幼稚園				5	5
事務・技術・労務職員					195	
	合計	5,882	2,816	8,698	535	320
						855

六 昭和59年度大学卒業生の主な就職先
(学部卒業生対象)

人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名
15	沖電気工業	5	リコー	3	日興證券	2	住友信託銀行
12	富士通	4	伊勢丹	4	日産自動車	2	西武百貨店
11	日本アイ・ビー・エム	〃	キヤノン	〃	日本信販	〃	第一生命保険
9	日本電気	〃	京セラ	〃	富士ゼロックス	〃	東京瓦斯
〃	明治生命保険	〃	日商岩井	〃	三井物産	〃	東京電力
8	住友商事	〃	富士電機	〃	三菱金属	〃	日産ディーゼル工業
〃	三菱電機	〃	紅丸	〃	三菱銀行	〃	日本光学工業
7	横河・ヒューレット・パッカード	〃	三菱自動車工業	〃	三菱製鋼	〃	服部セイコー
6	凸版印刷	〃	三菱重工業	2	旭硝子	〃	日立製作所
〃	日本航空	〃	三菱商事	〃	味の素	〃	富士重工業
5	シャープ	3	住友海上火災保険	〃	鹿島建設	〃	三菱鉱業セメント
〃	全日本空輸	〃	ソニー	〃	鐘紡	〃	三菱樹脂
〃	大日本印刷	〃	トヨタ自動車	〃	神戸製鋼所	〃	三菱信託銀行
〃	東芝	〃	東京海上火災保険	〃	清水建設	〃	三菱石油
〃	山一證券	〃	ニチメン	〃	鈴木自動車工業	〃	三菱レイヨン

七 昭和59年度(昭和60年3月卒業)高等学校卒業生の主な進学先

卒業生総数	296	進学者数	235	その他(予備校等)	61
-------	-----	------	-----	-----------	----

進学者数内訳

1. 成蹊大学	186	2. 国公立大学	7	3. 私立大学	41	4. 短期大学他	1
---------	-----	----------	---	---------	----	----------	---

昭和60年3月大学受験結果(昭和59年3月およびそれ以前の卒業生を含む)

大学名	入学者数	大学名	入学者数	大学名	入学者数	
成蹊大学	69	経済学部	27	慶應義塾大学	33	
	27	文学部	33	法政大学	57	
	33	社会学部	4	東洋大学	4	
	57	心理学部	3	明治大学	3	
国公立大学	浜京大	国際基督教大学	3	東邦大学	2	
	東京農業大学	3	東洋大	2	東邦大	2
	東京芸術大学	3	法政大	2	法政大	2
	東京藝術大学	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大学	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	2
	東京女子大	3	東洋大	2	東洋大	2
	東京女子大	3	法政大	2	法政大	2
	東京女子大	3	明治大	2	明治大	

八 昭和六十年度入学試験状況

九 中村春二記念室

◇記念室目録解説について

中村春二記念室の資料解説について、成蹊実務学校時代、中村春二先生に直接教えを受けられた実務九回卒業の川瀬一馬氏（書誌学者・文化財審議会専門委員）の編纂による「中村春二先生記念室目録解説」を実費で頒布いたします。この解説書は、中村春二先生の教育の理想と実際とを理解する上で大変貴重な解説書であります。

十 大学の近況

（成蹊学園 総務課）

	募集人員	志願者	合格者	補格者	欠格者	入学手続完了者	成蹊各推入	学校薦者	外部高校からの推薦入学者
大 学	経済学部	名 400	名 6,655	名 766	名 42	名 283	名 68	名 63	名 63
	工学部	名 280	名 5,912	名 498	名 51	名 189	名 27	名 73	名 73
	文学部	名 390	名 4,832	名 767	名 96	名 263	名 33	名 78	名 42
	法学部	名 350	名 5,775	名 616	名 0	名 272	名 57	名 42	名 42
	計	名 1,420	名 23,174	名 2,647	名 189	名 1,007	名 185	名 256	
高 等 学 校		約 90	417	119	0	62	255		
中 学 校		約 110	727	116	14	113	128		
小 学 校		114	658	114	21	114	114		

中学校（国際特別学級）		小学校（国際特別学級）	
	志願者	合格者	
大 学 ・ 高 等 学 校	経済学部	18名	11(7)名
	工学部	1	0(0)
	文学部	17	6(4)
	法学部	31	8(5)
高 等 学 校		66	20(7)
中 学 校		1年 29	11(11)
	2年 20	3(3)	
小 学 校		5年 21	11(11)

* ()内は入学手続完了者

◇昭和六十年度父母懇談会について

在学生父母を対象とした父母懇談会は、一昨年以来全国各地で開催しておりますが、本年度の予定は次のとおりです。

開催日	開催地	会場
六月二十三日（日）	札幌市	札幌全日空ホテル
六月二十九日（土）	名古屋市	名古屋ターミナルホテル
七月十三日（土）	広島市	広島全日空ホテル
七月二十日（土）	福岡市	博多全日空ホテル
九月十四日（土）	金沢市	金沢都ホテル

海外帰国子女関係

大学・高等学校

	志願者	合格者
大 学	経済学部	18名
	工学部	1
	文学部	17
	法学部	31
高 等 学 校		66

中学校（国際特別学級）

	志願者	合格者
1年	29	11(11)
	2年 20	3(3)

小学校（国際特別学級）

	志願者	合格者
5年	21	11(11)

◇経済界のトップを講師に迎えて

—「現代日本経営論」の開講—

本学経済学部経営学科では、日本経済界の第一線で活躍する左記の方々を講師に迎えて、本学四年次生および一般聴講生を対象とした専門科目「現代日本経営論」を開講しました。

「これからの経営」「貿易と国際経済」「通貨価値安定―その侧面と方策」

野田信夫先生（成蹊大学名誉教授）
石井正巳先生（三井物産株式会社会長）

「経営の人を見る目」「技術と経営」「建設産業と品質経営」「成熟社会と今後の経営」

前川春雄先生（前日本銀行総裁）
盛田昭夫先生（ソニー株式会社会長）
石川六郎先生（鹿島建設株式会社会長）
伊藤雅俊先生（株イトヨーカ堂社長）

△期間 本年四月より七月まで▽

去る一月二十二日サンケイ会館で開かれた「第一回土光杯全日本学生弁論大会（フジサンケイグループ実行委員会主催）に本学から森一陽君（本年三月法卒）が出席、最優秀賞を受賞しました。

（成蹊大学事務部）

十一 中学・高等学校の近況

中学・高等学校では、教育課程を一部手直しし、改訂した。この

改訂の留意点は、「中高六年のうち、前半の四年間を基礎的な学力の養成を目的とし、基本的な内容を中心として共通に履修させ、後半の二年間は、能力・適性に応じ、より深い学習を目的に科目を選択して履修する選択制を一部導入し、併せて、大学進学に対応する。特に、中学低学年では情操教育の充実につとめる」とことである。その結果、新しい教育課程で従来のものと変わった主な点で次の通りである。

一、中学一年から高校三年まで全学年週33時間とする。
二、中学一年で、美術・音楽をそれぞれ一時間増加する。

三、社会科・理科で各科目の整理・配置の変更を行い、選択制を手直しした。

四、高校二年に複数教科にわたる選択制導入を導入し、高校三年の課程への対応に弾力的とした。その結果、高校二年の選択履修形態は八類型となる。

五、高校三年では、高校二年の選択履修形態導入に関連して、従来のコースに一部手直しが行われ、全体に大学進学へより弾力的となつた。選択履修形態は九類型となる。

近年、成蹊高校生の進路はかなり広い範囲におよび、あらゆる大学のあらゆる学部・学科に進学する状況である。こうした生徒の進路の多様化に対応するためにも、高校段階での学習はいろいろな科目の選択・組み合わせで、多様な履修形態が可能であることが望ましい。今回の改訂はこのような趣旨をもふまえている。

現在、臨時教育審議会において、種々教育改革が論議されているが、成蹊では中屋健次校長（昭和五十年～五十三年在任）以来、建学の精神に基づいて、中高の一貫教育を推させてきた。今後もこの方針にそつて、教育の前進をはかりたい。

（羽田野孝通・中学・高等学校教頭）

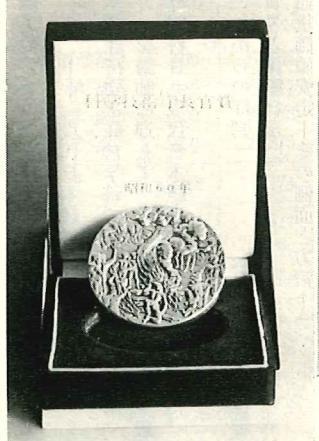
◇「創意育成功労学校」として科学技術庁長官から表彰される

◇桃の会（子どもの会）から王滝村へ災害見舞い金を贈る
昨年十一月末、地震の被害を受けた長野県王滝村の人々

表
彰
狀

東京都
私立成蹊小学校殿

功績は極めて顯著であると認ります
よって第十二回創立賞を貰ひが学校委員会
を行うにあたり本賞と贈り表彰します
昭和六十年四月十六日



たからです。この発明工夫
展には、三十
年近くも毎年
出品し、その
間に、創意工
夫の育成に成
果をあげたと
して、何回か
「学校賞」な

◇創立七十周年を迎えて

今年は、小学校創立七十周年にあたります。これを機に、以前に本誌で紹介しました重点目標を念頭におき、現在の子どもの実態と私ども教育実践者としての指導の反省等をテーマに四月に話し合い、着実に歩むよう努力しています。

○たった三百円でごめんなさい。でもどうかお役に立ちますよう
にお祈りしています。くじけずにがんばってください。
この子ども達の活動に対し、昨年暮には家高村長からお礼の手
紙が送られ、更にこの四月には、王滝村小・中学生の体験記を編集
した『地底からの叫び—立ち上がる王滝村の子どもたち—』の一冊
の本が送られてきました。全校朝会で、校長がこの中の二、三篇を
読み、全校児童に紹介しました。(一部「学校と家庭」から抜す)

(木林定言 小山樹長)

成蹊高等学校（旧制）開校60周年記念事業

大正14年（1925年）に設立された旧制成蹊高等学校（七年制高等科三年・尋常科四年）は本年開校60周年に当たりますので、数年来、旧制高校同窓会において会合を重ね、次のような記念事業を企画し、昨年7月趣意書を旧制高校卒業生全員（住所判明者約1650名）に送付いたしました。

趣意書

成蹊学園70余年（1912年創立）の歴史を顧みますと、旧制高校の果した役割は極めて大きいものがあります。旧制高校は、大正14年（1925年）に創立され、戦後の学制改革に伴い昭和25年（1950年）に終止符をうち25年間の幕を閉じました。

仮りに、成蹊学園の歴史を三期に分けますと、第一期は創立者中村春二先生の池袋時代、第二期は地を吉祥寺に移して開設された七年制高校時代、第三期は大学の新設と新制度による小・中・高校の時代といえましょう。

いわゆる、第二期の七年制高校は教学的には浅野孝之、土田誠一両校長のもとで優れた教育者、学者を擁し、財政的には理事長岩崎小弥太氏が後顧の憂いをなくして、少人数による人格教育を実践して「古き良き青春時代」であったと思われます。戦後は多少の混乱がありましたが、よく戦前の伝統を引き継ぎ名誉ある終えんを迎えるに至りました。

旧制高校卒業生は現在約1,900名を数え、齡も52才～77才を超えるとしております。この機会に、旧制成蹊高校の教育理念と存在価値を後世に伝えておきたく、かつ、将来にわたる学園の教育振興にいささか寄与したいとも念願し、次のような記念事業を企画いたしました。

1. 旧制成蹊高等学校回顧録の刊行配付
 2. 旧制成蹊高等学校を象徴する記念碑の建立
 3. 成蹊中・高校（新制）に対する教育振興基金の設立

上記事業のうち1と2は現在着々と進行中で来る7月には完成落成の運びとなる予定にしております。一方募金は一応3月末日をもって締切りましたが当初の目標金額2,000万円(1口3万円以上)を遥かに上回る2,869万円(4月末日現在)の寄付金(個人455名・法人8社)が集まりました。なお、この募金についてご失念の方や未だご存知なかった方には、今後ともお受け付けいたしております。

この記念事業が旧制高校生各位のご協力により、予想以上の多くの方々からお力添えをいただきましたことを深く感謝申しあげますとともに、ご賛同者には来る7月にご披露のご挨拶状を差しあげる予定にしております。また、学園ご当局におかれても多大のご協力を賜わり厚く御礼申しあげる次第です。

成蹊会報告

昭和
6059
年11月
4月30日

一、会議

○理事会

第91回理事会（60年3月26日）

成蹊会年会費改訂の件

昭和60年度成蹊会事業計画・収支予算案承認の件

成蹊会評議員候補者推薦の件（理事会推薦）

○同窓会

旧高委員会（59年11月5日）法学部幹事会

小学校幹事会（60年2月5日）池袋同窓会

文学部役員会（60年3月16日）工学部幹事会

やよい会委員会（60年3月16日）法学部委員会

ブレーメ幹事会（60年3月20日）政経学部委員会（60年3月22日）

旧高委員会（60年3月25日）高校委員会（60年3月29日）

経済学部幹事会（60年4月2日）やよい会総会（60年4月6日）

文学部同窓会総会（60年4月7日）

○支部会

関西支部会（59年11月16日・大阪市）

中国支部会（59年11月17日・岡山市）

東海支部会（60年1月28日・名古屋市）

二、催事

○第62回枯林忌（60年2月16日）

中村春二先生墓参（東京・染井墓地）と追悼会（三菱スポーツセンター）

三、事業

○成蹊会誌第60号発行（昭和59年12月1日）

○第八回桜祭り（60年4月7日）
成蹊校祭り実行委員会主催（成蹊学園構内）

四、会費改定

○年会費改定（60年3月26日・第91回理事会承認）

（1）年会費二年分四〇〇〇円（60年4月1日より実施）

○改定の理由

年会費は物価に応じてその都度改定してきたが、本年度は総合会員名簿を発行する予定もあり、一か年につき二五〇円増額願うこととした。（従来は二か年分三、五〇〇円）

あとがき

○新緑の候、いつもながら母校のケヤキ並木は緑したたり、太く、逞しく、見事である。成蹊会誌57号から表紙に学園の四季を連載したが、本号はそれを構成したものである。春夏秋冬いづれの時季を選んでも結構。どうぞお越しをお待ちしています。

○本号は特に外国通信欄を設け、海外で活躍しているOBの現地報告を掲載した。寄稿文を依頼するに当つて、在外居住者を調べたが、大変な数なので材料に不足なく、次号からも是非づけたいと思っている。世界各国からの生々しい情報にご期待願いたい。

昭和60年6月1日	編集兼発行人 谷岡喜久蔵
発行所 社団法人 成蹊会	
〒180 武藏野市吉祥寺北町3-3-1 電話 0422・51・2244	